

中学生体験入学



夏休みに入ると各高等学校の「中学生体験入学」が順次開催されます。この行事は、高等学校が主催し、中学生の皆さんにそれぞれの高等学校の授業等を体験してもらい、進路選択の際の参考となるように実施されるものです。つまり、皆さんが高等学校を見に行く、体験しに行く行事です。しかし、**裏を返せば、高等学校側に見られに行く、試されに行く行事でもあるのです。**物見遊山のつもりで中学生体験入学に参加し、高等学校の先生に悪い印象をもたれてしまうことが絶対無いようにしてください。当日は、次の点に十分に留意して参加するようにしましょう。

1 身だしなみ・持ち物

服装や髪型は、中学校の校則に違反していなければよいというような次元で考えるのではなく、より清潔感があり、好印象を与えられるように心がけましょう。また、持ち物も体験入学にふさわしいものを選びましょう。例えば、カバンにチャームやストラップ類を大量に付けているのはあまり感じのよいものではありませんし、ハンカチやティッシュを持っていないというのもだらしない感じがします。

2 行き帰り

当日、保護者の車で送迎してもらう人も多いと思いますが、乗降時に近隣の施設に迷惑をかけたり、交通の妨げになったりすることがないようにしてください。また、自転車を利用する人は、必ずヘルメットを正しく着用し、交通ルールやマナーを絶対に守り、安全に細心の注意を払ってください。体験活動が終わった瞬間に気が抜けて騒いだりふざけたりすることも絶対無いようにしてください。

3 時間厳守

集合時間や活動の開始時間に遅れると全体に迷惑をかけることになります。時間を守るのは社会生活の基本中の基本です。高校の先生に「それさえできない人」と思われないように、時間には余裕を持って、ある程度のアクシデントは想定した上で、早め早めに行動しましょう。

4 あいさつ・言葉遣い

職場体験の時と同様、体験入学の時も最上級のあいさつと言葉遣いが必要です。まず、立ち止まって、相手の目を見て、大きな声でさわやかに！あいさつの後にきちんと礼をしましょう。あいさつや言葉遣いは習慣です。日頃からきちんとしたあいさつをしたり、正しい言葉遣いをしたりするように心がけましょう。

5 私語や勝手な行動の厳禁

高校の先生からいつ、どのような指示があるかわかりません。活動中はもちろん、休憩時間や待ち時間なども私語は控え静かに過ごすようにし、高校の先生の指示を聞き逃さないようにしましょう。また、指示されたことをきちんと理解し、適切な行動が取れるようにしましょう。万一、聞き逃したり、理解できなかった場合は、勝手な判断をせず、高校の先生に確認するようにしましょう。

保護者の皆さまへ

体験入学の行き帰りや活動中の思わぬ事故等に備えて、「高等学校体験学習における傷害保険」（東京海上日動火災保険）に全員加入させていただきます。加入料は一人20円となっており、学年会計から全員支出させていただきます。当日、何らかの理由で参加しなかった場合も払い戻しはありません。

この保険は、夏休み期間中であれば、県内外の何校の体験に参加しても適用になります。ただし、食あたりや熱中症などは除外されます。また、部活動への練習参加は適用されませんので、部活動の体験入部をする人は、各自で保険に加入することをお勧めします。高等学校によっては、体験入部には、保険加入が義務づけられている場合もあります。